

大津企業景況調査報告書

(第68回)

平成27年 1月～ 3月期 実績

平成27年 4月～ 6月期 見通し

大津商工会議所

大津企業景況調査について

(平成27年1月～3月期)

1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	15社	75.0%
製 造 業	10社	8社	80.0%
卸 売 業	10社	7社	70.0%
小 売 業	30社	24社	80.0%
サービス業	30社	25社	83.3%
合 計	100社	79社	79.0%

3. 調査期間

調査対象期間は平成27年1月～3月とし、調査時点は平成27年3月3日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は足踏み状態が続く

平成 27 年 1 月～3 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

景況感は足踏み状態が続いている。全体の業況判断 DI（前年同期比）は▲17 と前四半期から 3 ポイント悪化した。業種別では、小売業が前四半期の大幅悪化の反動で改善し、建設業が不変であったが、それ以外の業種は軒並み悪化した。これは大幅金融緩和による株価の上昇、原油価格下落等の追い風があるものの、消費増税の影響で個人消費が十分回復していないことや製造業が円安による原材料高等で採算が悪化しているためとみられる。

先行きは、業況判断 DI が▲6 と改善すると予想している。業種別では、公共工事が一服する建設業は悪化し、運賃値上げ等から卸売業も悪化する見込みであるが、製造業、小売業、サービス業は改善すると見込んでいる。これは海外経済の先行き懸念があるものの、株価上昇や原油安効果もあり個人消費が徐々に持ち直し、各種中小企業支援策が講じられていることから先行きにやや期待をしているものとみられる。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は小幅悪化。建設業、小売業以外は軒並み悪化

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期から悪化した。業種別では、建設業が不変で小売業が改善したがそれ以外の業種は軒並み悪化した。これは大幅金融緩和による株価上昇、原油価格下落等の追い風もあるものの、消費増税の影響で個人消費が十分回復していないことや製造業が円安による原材料高等で採算が悪化しているためとみられる。

□ 売上 DI（前年同期比）は変わらず。小売業以外は軒並み減少

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、前四半期の▲10 から今四半期も変わらず。業種別にみると、前四半期に大きく減少していた小売業が大幅に改善したが、他の業種は軒並み減少した。

□ 採算 DI（前年同期比）は、ほぼ変わらず。小売業以外は軒並み悪化

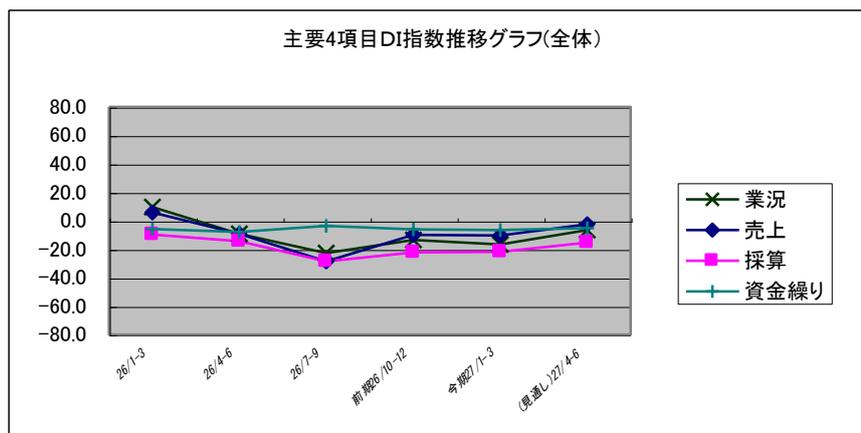
「前年同期比でみた採算（経常利益）DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期▲22 から今四半期▲23 とほぼ変わらず。業種別にみると、前四半期に大きく悪化していた小売業が改善したが、製造業が円安による原材料高等で大幅悪化するなど軒並み悪化した。

□ 資金繰り DI（3 ヶ月前比）は変わらず。サービス業が悪化し、建設業、小売業は改善

「3 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、前四半期の▲6 から変わらず。業種別にみると、サービス業が悪化し、建設業、小売業は改善。他の業種は変わらず。

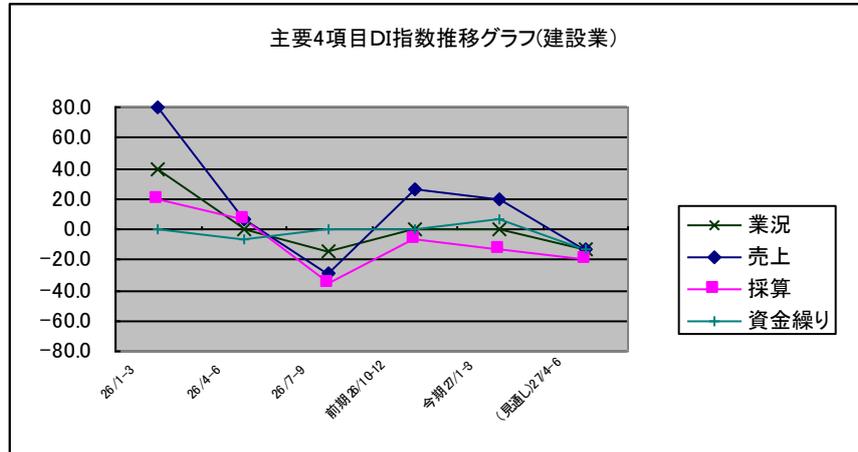
□ 従業員 DI（前年同期比）は人員不足が続く。建設業、小売業で特に顕著

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、前四半期の+19 が今期+23 と更に人員不足が強まっている。業種別にみると、建設業が+47、小売業が+38 と両業種において特に顕著である。サービス業は+8 と少し落ち着いた。



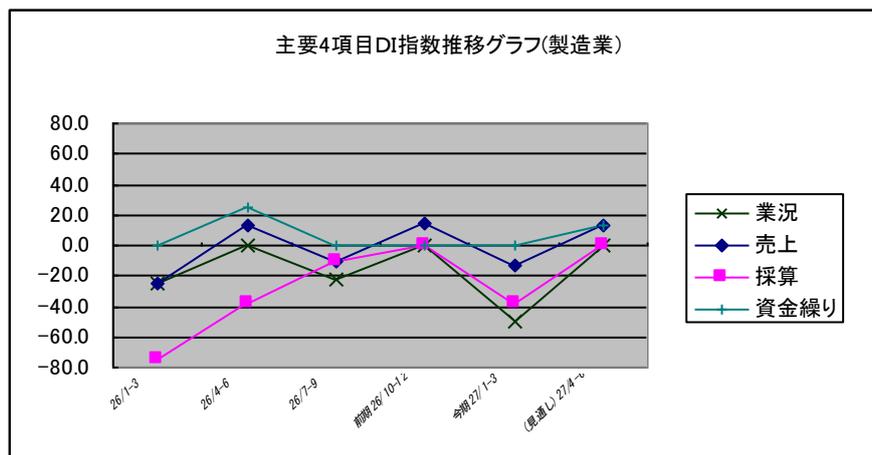
建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の±0（前年同期水準）が今四半期も続いた。個別指標をみると「売上」が前四半期の+27 から今四半期+20 と公共工事の増加等で増加が続いたが、「従業員」が大幅な人員不足となっており、「採算」は悪化した。取引の「問い合わせ」が減少していることから上記の業況判断になったとみられる。



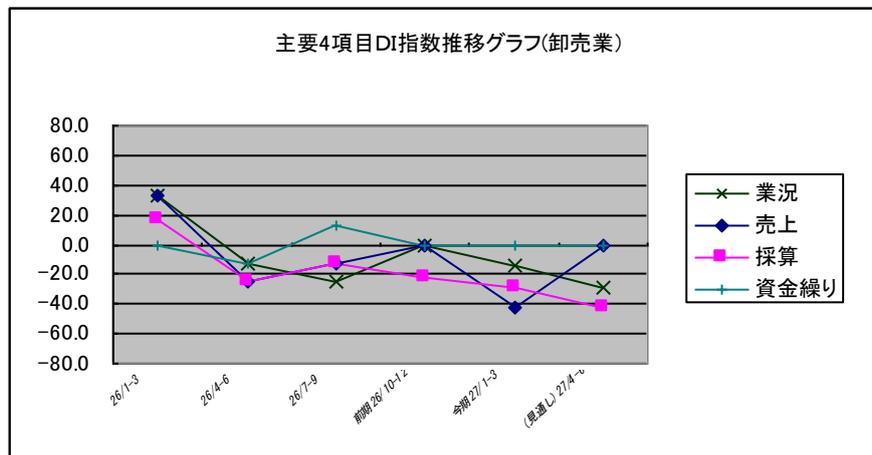
製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期±0(前年同期並み)から今四半期は▲50 と大幅に悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の+14 から今四半期▲13 と減少し、「採算」も前四半期の±0(前年同期並み)から今四半期▲38 と悪化し、「問い合わせ」も減少している。これは円安による原材料高等で採算が悪化しているためとみられる。



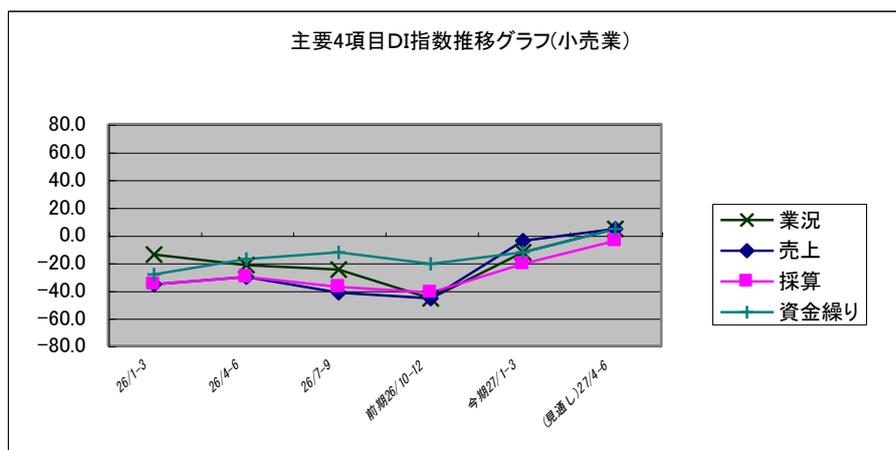
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の±0(前年同期並み)から今四半期は▲14 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の±0(前年同期並み)から今四半期は▲43 と大幅に減少し、「採算」は悪化が続いている。「問い合わせ」は前四半期の±0(前年同期並み)から今四半期は▲57 と大幅に減少した。



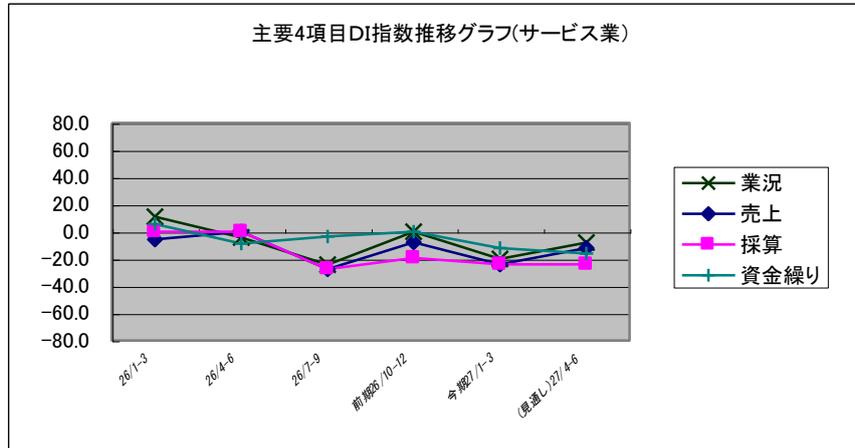
小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲46 から今四半期は▲13 と改善した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲46 から今四半期は▲4 と減少幅が縮小し、「採算」も悪化幅が縮小した。「人員」は不足が続いている。大幅金融緩和による株価の上昇、原油価格下落等の追い風があるものの、消費増税からの持ち直しが弱い面やネット販売の影響を受けている面も考えられる。



サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の±0(前年同期並み)から今四半期は▲20 と悪化した。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲8 から今四半期は▲24 と減少し、「採算」も悪化が続いている。「従業員」は人員の確保難がやや緩和した。円安による材料費の高騰等が採算を厳しくしていると見受けられる。



来四半期(3ヵ月後)の「業況」DIは、今四半期の▲17から▲6と改善する見込みとなっている。個別指標をみると、「売上」は減少幅が縮小し、「採算」の悪化幅が縮小して「採算水準」も改善するとみており、人員不足はやや緩和するとみている。業種別では、公共工事が一服する建設業がマイナスになると見込み、運賃の値上げ等から卸売業も悪化すると見込んでいるが、製造業はじめ他の業種は改善すると見込んでいる。

海外経済の先行き懸念があるものの、株価の上昇や原油安の追い風もあり個人消費が徐々に持ち直すと見込み、中小企業・小規模企業への各種支援策が講じられていることもあって、企業は先行きにやや期待をしているものとみられる。

3ヵ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期から4ポイント増えて25%であった。業種別にみると、卸売業が最も高く43%、製造業が38%、建設業27%、小売業25%であった。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が48%で最も多く、「合理化・省力化投資」が19%であった。

投資方針は、「計画通り」が50%ある

一方「景気により計画を見直す」も40%ある。特にサービス業においては「景気により見直す」が「計画通り」を上回っており、個人消費に敏感な業種は慎重に考えていることが見受けられる。

田中マネジメント事務所
MBA・中小企業診断士 田中清行

(今の経済情勢に対する意見)

以下は、今の経済情勢に対する意見である。

- ・ 経済、社会の先行き見通しが不安定なので、計画がたてづらくなっています。(製造業)
- ・ 「米の専売店とは」と問われる現実です。生き抜く事の難しさをつくづく感じます。(小売業)
- ・ 今はネット販売の影響が多大了。(小売業)
- ・ 経験値が活かされない局面が続くが、それが今の時代と思えば、やれる事、得意な事への集中へと迷う事はなくなる。どの様な局面でも利益を出せる会社へと成長する。そんな覚悟と決意が問われる経済情勢と思います。(小売業)
- ・ 住宅エコポイントの出現で、仕事量が増加することを願います。大津市住宅リフォーム補助金に期待！！(建設業)

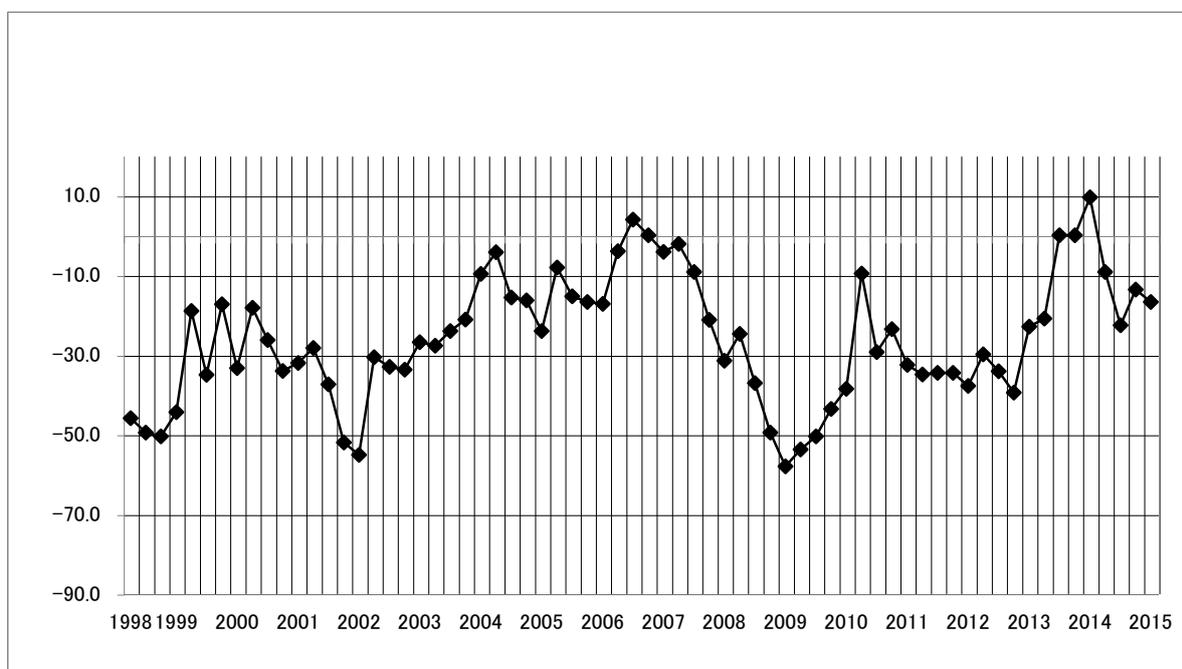
DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し
全 体	▲16.5	▲6.3	▲10.1	▲3.8	▲22.8	▲16.5
建 設 業	0.0	▲13.3	20.0	▲13.3	▲13.3	▲20.0
製 造 業	▲50.0	0.0	▲12.5	12.5	▲37.5	0.0
卸 売 業	▲14.3	▲28.6	▲42.9	0.0	▲28.6	▲42.9
小 売 業	▲12.5	4.2	▲4.2	4.2	▲20.8	▲4.2
サービス業	▲20.0	▲8.0	▲24.0	▲12.0	▲24.0	▲24.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し
全 体	1.3	6.3	▲22.8	▲22.8	22.8	16.5
建 設 業	33.3	13.3	▲6.7	▲26.7	46.7	20.0
製 造 業	25.0	37.5	▲12.5	▲37.5	0.0	12.5
卸 売 業	▲14.3	14.3	▲57.1	▲14.3	0.0	0.0
小 売 業	▲16.7	4.2	▲20.8	▲20.8	37.5	29.2
サービス業	▲4.0	▲8.0	▲28.0	▲20.0	8.0	8.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	1-3月期 動向	4-6月期 見通し	1-3月期 動向	4-6月期 見通し	1-3月期 動向	4-6月期 見通し
全体	▲6.3	▲5.1	▲2.5	▲2.5	▲1.3	▲1.3
建設業	6.7	▲13.3	▲6.7	▲6.7	▲6.7	▲6.7
製造業	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小売業	▲12.5	4.2	8.3	8.3	8.3	8.3
サービス業	▲12.0	▲16.0	▲12.0	▲12.0	▲12.0	▲12.0
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 0

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucci.or.jp/>